

傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆ 今、伝えたいこと
～業務の見える化～
- ◆ 病棟の改修設計・監理
について
- ◆ SDGsを目指す建物
にするために
- ◆ 材種がkey
- ◆ 網戸で暮らしを守る時代が
きました！！SOLID-FLOW
～株式会社サンテック九州様～
- ◆ 32回目の創立記念日
- ◆ 3年ぶりの母校訪問
- ◆ 社員名鑑



今、伝えたいこと ～業務の見える化～

皆さま、こんにちは。厳しい残暑から、最近になってようやく街の風景が秋めいてきました。行楽にスポーツ、読書と何をするにも良い季節ですね。ちなみに私は相も変わらず、スポーツ(=ゴルフ)に勤しむ予定です。

さて、弊社は、今年の8月1日をもちまして創立32周年を迎えました。これもひとえに皆さまの温かい御厚情の賜物と心より深く御礼申し上げます。今回は、弊社が今後組織として更に強化・充実するために、必要だと考えていることをお話しします。

先日、私は全社員に対し、いつコロナウイルスに感染又は濃厚接触による自宅待機になっても会社が速やかに対応できるように「各自、資料や机まわりを日頃から整理しておくこと」と「各担当業務に関する情報の社内共有を徹底すること」を伝えました。しかし、この2点はなにもコロナ禍に限って大切なことではありません。



★図面を“見る”岩本★

「業務の属人化」という言葉を皆さまもお聞きになったことがあると思います。業務や役割が「人に属する」つまり「業務の進め方や内容、進捗状況について、特定の人のみが把握している状況」を表します。個人が大きな責任を担うことができる、信頼をおける存在だという証ではありますが、会社全体の業務効率化や生産性向上を目指すためには大きな障壁になると私は考えています。属人化しないために必要なのが「業務の見える化」です。業務の進行状況や情報を常に全体で共有し、キックオフ会議、中間会議などを徹底することです。この見える化によって、組織全体で抱えている業務量を適切に把握し、特定の人だけに負荷を掛けず、それぞれに適正な配分をすることができます。また、遅延トラブルやエラーチェーンを断つことにも繋がります。

従前、設計業界は物件の見積から設計、施工監理までを一人の建築士が担当して行うことが主流であり、これまで私も、どちらかという各々の自主性を重んじておりました。しかし、今は積極的にチェックに入って各業務や作業を“見る”ようにし、私自身も変わる努力をしているところです。こうした組織・社内体制の強化と充実が、ひいては皆さまから信頼される会社に繋がるものと考えています。(代表取締役 岩本茂美)

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

コロナ禍で県外出張は幾分減りましたが、それでも月1～2回は飛行機を利用する機会があります。先日、私がいつも利用している航空会社サイトのキャンペーンに応募してみました。(賞品は宿泊券とパーティー招待券！)実は過去に当選した実績もあり、今回も当たる気がしています！

当選！



★病棟の改修設計・監理について★

昨年10月に某病院の病棟のワンフロアを一般病棟から緩和ケア病棟に改編する改修工事の設計・監理業務を受注しました。現在設計を終え、監理業務が開始したところです。

改修設計は既存状況の調査では把握できるところに限界があるため、施工図や過去に部分改修した際の施工写真などを参考に設計をまとめることが一苦勞でした。しかし一番大変だと痛感しているのが監理業務です。

調査と資料を基にした設計図と、天井や壁を剥いでみて初めて分かる現況との食い違いは、改修設計では大いにある事ですが、その都度専門業の方と速やかに対処方法を協議・判断し、然るべき方の承諾を得て施工しなければなりません。

さらに今回の改修工事は病院の

機能は止めずに行うため、神経を使って監理にあたっています。

【水廻りの施工】

病院の水廻りの排水管は、ほぼ下階の天井裏に通っているため、下階の利用を止めて一時移動していたくなどの病院との綿密な改修計画が重要になります。

【給排水・給湯・電気経路の施工】

現状を把握し、一時的に遮断しても問題が無いか検討します。断水や停電が避けられない場合は、いつでもどれくらいの時間遮断出来るのか、工程を含めた施工計画の検討も重要になります。給排水・給湯は日常的に不可欠であり、電気は生命維持に関する機器への影響もあるため、絶対にミスは許されません。

【分離発注による工事】

今回の工事は建築・電気設備・給排水衛生設備・空調換気設備が分

離発注による工事であるため、各社と連携を図るためのコミュニケーションの質が重要になります。

各施工者の技術と足並み、施設側の理解と協力、それを取りまとめる監理を常に意識した、「三位一体」が重要です。完成に向かってもう少しばかり緊張感が続きます。(藤田)



傳設計 設計業務

SDGs*は、2030年までに持続可能なよりよい世界を目指す国際目標であり、近年さまざまな個人、団体が意識して取り組んでいます。建物においても人々が生活する空間であり、多くのエネルギーを消費するものであることから、SDGsを意識した要望も増えてきました。

福岡市もSDGsの一環として、市有施設の省エネ性能向上のためのZEB**化を目指した取り組みを行っています。施設の新築時や改修時に高効率の照明や空調の導入、建物の高断熱化等を行うことで、長期的にわたって施設の消費エネルギーの削減を図ることで、建物の省エネ性能向上を目指しています。

また、建物の省エネ性能向上には初期の整備費用が掛かりますが、運営・管理費の低減が見込まれるため、ライフサイクルコストの低減が期

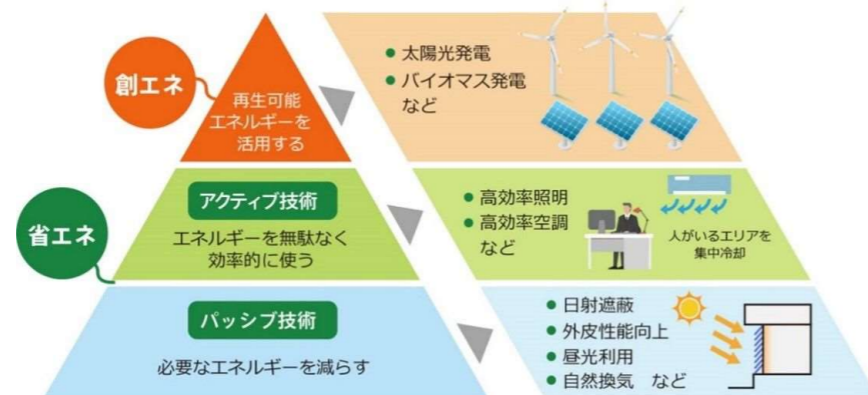
待できます。敷地条件や建物用途等を考慮し、建物外皮の仕様や設備機器を選定することで、環境にやさしく、且つ、経済的な建物の設計に繋がるのではないかと考えます。

省エネの観点にとどまらず、再生可能エネルギーや水の有効利用、木材利用の促進等、SDGsのために建築の分野で取り組めることは多

くあります。今後も、建物用途に合わせてSDGsを意識した設計プランを提案していきたいと思えます。(林田)

*: Sustainable Development Goalsの略称

** : Net Zero Energy Buildingの略称



★ZEB化を実現するための技術(出典：環境省HP)★

★SDGsを目指す建物にするために★

NEW&HOT TOPIX

木造と聞いて皆さんはどのような木の種類を想像しますか？

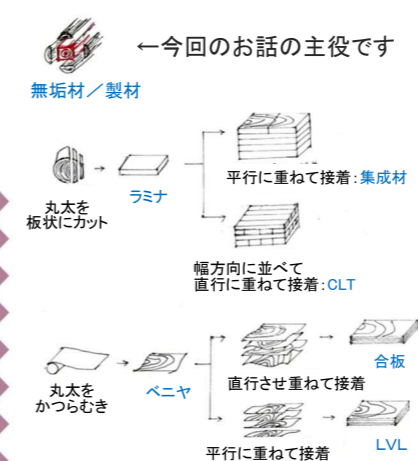
木造の建築物は1棟の中でさまざまな樹種の木材が使用されています。そしてこれらの木材は種類によって、強度が異なります。言わば個性といったところでしょうか。木造の建物では強度を考慮し、まさに適材適所に木材が使用されています。また、建築で使用される構造用木質材料は加工の仕方でも種類にも分かれます。

今回は木質構造部材の一つ、原

★材種がkey★

木を鋸挽きした「製材」(無垢材)の分類についてお話します。

一口に製材といってもさまざまな分類があります。JASで認定された製材は「人間の目視によって判断したもの＝目視等級区分製材」、「機械によって判断したもの＝機械等級区分製材」に分かれます。前者は目



★木質構造部材の種類★

視で節や割れを判定し、3つの等級に区分します。そして後者は機械によって部材の固さを計測し、製材の強度を6つの等級に区分します。目視等級区分製材はさらに、梁や桁など曲げ性能を必要とする部分に利用される「甲種構造材」、柱、間柱など圧縮性能を必要とする部分に利用される「乙種構造材」に分類されます。このように製材は強度によって分類されます。また同じ樹種でも強度ごとに区分されます。

上記の分類の他に、樹種によって強度が定められている「無等級材」があります。安価なため一般的によく使用されていますが、検討部材が構造計算の結果変更を余儀なくされた場合、材の断面を大きくする他、樹種を変更する、等級を変更する、その他の木質構造部材を使用する等、多くの中からベストな選択をしていきます。(田中)

今回はサンテック九州様から「網戸」についてお話を伺いました。普段は何気なく目にしてはいる網戸ですが、この記事を読んで商品が気になった方は、ぜひ問い合わせてみてください！(藤田)

『お客様の声』に耳を傾けた時に、本当に必要な性能を誠心誠意検討し、ソリッドフローが誕生しました。

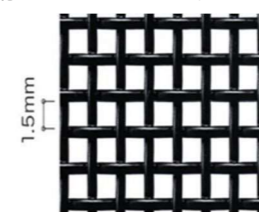


★施工後取外しが可能な操作つまみ★
窓を解放した状態で網戸に鍵をかけるので、ペットや植物にも優しい環境を提供します。ソリッドフロー

は、「頑丈」「強靱」「壊れにくい」構造で、安心・安全なステンレスネット仕様の防犯性・防災性・換気性・防虫・各性能を備えた網戸です。

使用金網はステンレスSUS316高張力鋼線、両面に粉体塗装処理しています。ナイフによる攻撃に耐えうる試験、塩水噴霧試験(10年間の耐食性能)、1万回の開閉試験による耐久試験も合格。安心して長くご使用いただけます。

とにかく頑丈なことから、防犯性・防災性等の機能が必要な面格子・電動シャッターの代用として採用が



★蚊の侵入も許しません★

増えています。特に保育園や幼稚園で注目され、お子様がぶつかっても網が緩んだり破れたりすることがなく、修理や網の張替えが不要と好評を得ております。また、介護施設、病院、戸建て住宅、マンション(ペット対応)などの建物でもにも多く採用いただいています。新築はもちろん、既存の窓枠やドア枠にも取付けが可能です。

三協アルミ社福岡ショールームに、頑丈さを体験いただける展示がございます。是非ご来場ください。」



動画QRコード

【お問合せ先】(株)サンテック九州
営業開発部 池田様
TEL:092-437-5670
E-mail:ikeda-shouji@st-grp.co.jp

★網戸で暮らしを守る時代がきました!! SOLID-FLOW ~サンテック九州様~★

★ 32回目の創立記念日★

去る8月1日に弊社は創立32周年を迎え、なごみ会議室にて創立記念式典を行いました。まず社長より、前期までを振り返り、会社として今後どのように進むべきか、そして今期の経営指針について話がありました。各部からは前期の反省や今期の目標、物件の実績発表がありました。実際に業務を担当した社員が発表を行うのですが、総務部で業務をしている私にとって、設計の話を聞ける数少ない機会であり、ひそかな楽しみだったりもします。発表している社員の顔を見て「この1年で顔つきが変わったな、いい経験ができたんだろうな」と感じました。

また、永年勤続の社員、プロポーザル特定に関わった社員、今後に期待する社員への表彰がありました。表彰を受けた社員は、笑顔を見せながら、周囲の方々への感謝の言葉や今後の目標について述べていました。来年の創立33周年も笑顔で迎えられるよう、社員一同頑張ります！（真弓）



★社長より★



★表彰される社員★

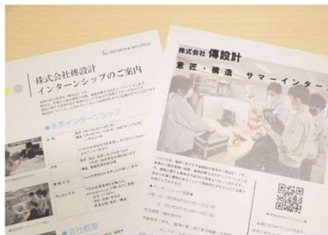
★ 3年ぶりの母校訪問★

新型コロナウイルスの影響で中止していた母校訪問を、3年ぶりに再開しました。総務部の私には普段は接点の少ない設計部の社員との訪問でしたので、道中は話が弾みました。大学へ到着すると、卒業生である設計部社員が先生や在学生に向けて、今取り組んでいる仕事について話してくれました。「実務ならではの大変さも多いが、大学や院で学んだことを活かして成長していきたい」と話す姿はとても格好良く映りました。お世話になった先生からの激励もあり、やる気がUPしたようです。私は傳設計をよく知ってもらうべく、会社についてや新卒採用への想いを伝えました。

母校訪問を通して、同行した社員の学生時代の頑張り、大学の雰囲気、先生の考え方、学生さんの就職活動の傾向や価値観を知ることができ、充実した時間となりました。今回は2～5年目社員の母校3校を訪ねましたが、これからも継続し、インターンシップへの参加や採用のご縁に繋がっていきたいです。（平野）



★インターン参加につながりました★



社員名鑑 vol.44



◆ 編集後記///おおよそ一年半ぶりの登場となりました。今号より暫くの間、編集を担当させていただきます。新型コロナウイルスの感染拡大状況は一進一退が続いておりますが、これまでと変わらずニュースレターを通じて皆様とやりとりができますことを、非常に嬉しく思います。引き続き、どうぞ宜しくお願いします。/アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただけましたら、幸いです。ご返信お待ちしております。（服部）



「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH.& ENG. OFFICE

〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル

TEL:092-737-1500 (代表)

FAX:092-737-1501

